



取扱説明書

エアーキャリー®

ATC-99T ITEM No.881211

ATC-150T ITEM No.881212



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

－ はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。

この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

－ 使用目的

本製品は、軽自動車・普通乗用車のタイヤの空気圧調整用可搬式エアインフレーターです。タンク内に充填し、本体を車の所まで持ち運んで作業できます。操作も簡単で、誰にでもタイヤの空気圧調整作業が行えます。タンクへの充填は、付属のスタンドにセットしておくだけで自動的に補充されます。設置のための特別な工事也不要です。

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

－ 使用上の注意

警告



－ 本製品は測定機器です。損傷したままの使用や誤った使用、不適切な状態によって正確な空気圧で充填されず過充填となった場合、タイヤやタンクの破損に伴う重大事故の原因となります。以下のように正しく使用してください。

- * 本製品を乱暴に扱ったり、車両などにぶついたりしないでください。
衝撃により正しい空気圧の充填が行えなくなります。また、タンクが破損するとタンク内のエアの吹き出しや構成部品、その他飛散の可能性があります。
- * 本製品を分解・改造しないでください。
- * タイヤにエア充填する前に、必ず車両に貼られている車両指定空気圧（タイヤの空気圧）ラベルの値を確認し、正しい空気圧を充填してください。
- * タイヤにエア充填する際は、エア漏れが無いようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへ正しく押し当ててください。また、タイヤ圧が正しく測定できていることを確認してください。
- * インフレーターガンを落としたり乱暴に取り扱わないでください。
- * インフレーターガンの操作時、小刻みにタイヤの圧力を確認しながら行ってください。
- * 子供に使用させないでください。

注意

-  - 本製品は、普通自動車および軽自動車用であるため、大型車や車両以外の用途で使用しないでください。早期故障の原因になります。
-  - スタンドにエアーキャリア本体を過度に押し付けしないでください。バルブ部にあるパッキンの損傷によりエア漏れやタンク内へのエア供給不可などの恐れがあります。
-  - タイヤバルブへの接続中にホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。タイヤチャックなどの破損の原因となります。
-  - コイルチューブは無理に曲げないでください。潰れまたは折れの原因となります。
-  - 直射日光が当たらない、水平な場所に設置してください。また、本製品は使用者の邪魔にならない場所に設置してください。
-  - 本製品は防雨仕様ではありません。雨水がかからない場所に設置してください。
-  - 真夏の暑い条件下では、金属部品が高温となっている場合があります。取り扱い時に注意してください。
-  - スタンドに供給するエアは、必ず 1000 kPa 未満のエアを使用してください。使用のコンプレッサーが 1000 kPa (1 MPa) 以上の圧力を発生する場合には、必ずエアレギュレーターで 1000 kPa 未満の圧力に減圧して使用してください。リリース弁が 950~1000 kPa にてリリースするため、エアの消費に繋がるほか、リリースする排気音が常時するため故障と間違えることがあります。
-  - エアーキャリア本体を持ち運ぶ際には、インフレーターガンがフックから外れないように注意してください。

<ポスターに関して>

本製品を正しく取り扱っていただくため、ポスターデザイン（データ）を用意しております。必要に応じて印刷頂き、作業者が見える位置に貼ってください。

データにつきましては、下記弊社 WEB サイトよりダウンロードしてください。

<https://www.yamadacorp.co.jp/products/a2-b02/a2-b2-c03/-atc-99t150t.html>

右の二次元コードを読み取り、アクセスすることも可能です。

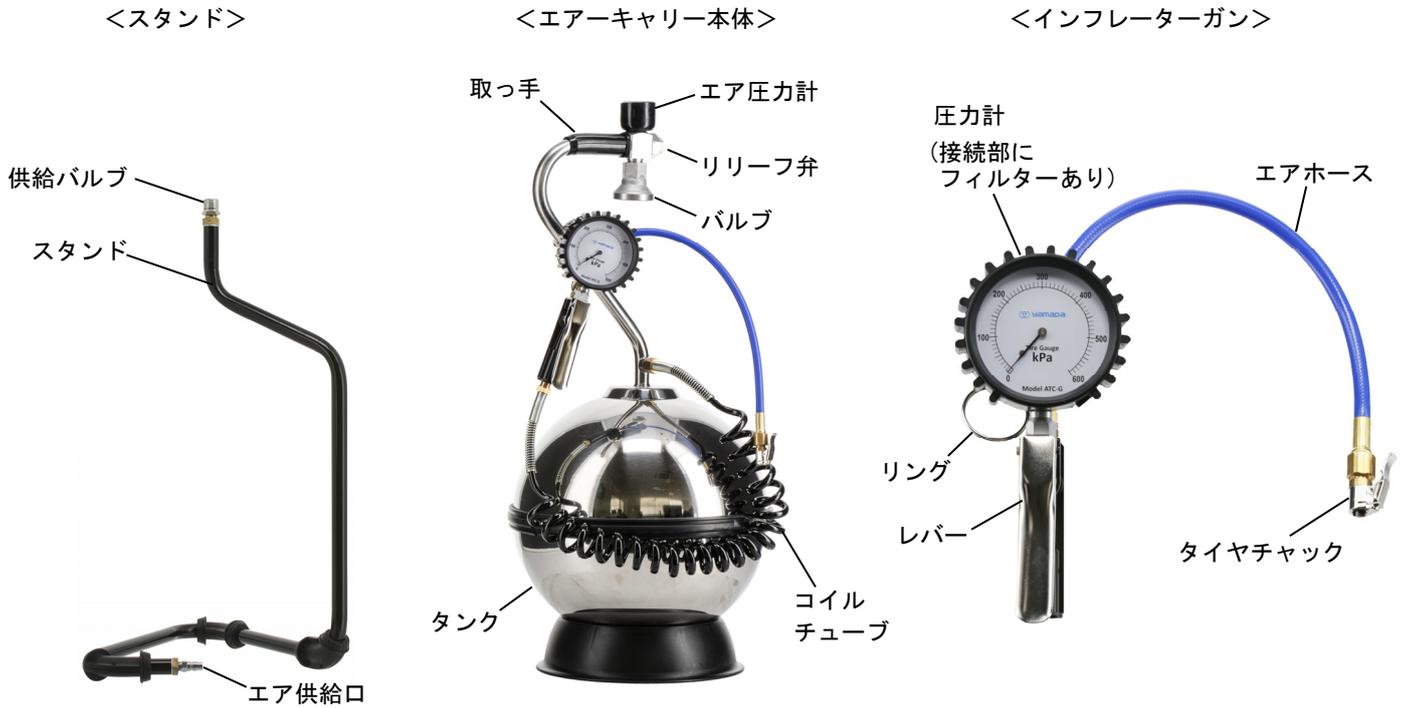


目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 使用前の準備	2
2.1 インフレーターガンの収納	2
2.2 エアーキャリーへのエア供給	2
3. 使用方法	3
4. 保守・点検	5
4.1 保守	6
4.2 トラブルシューティング	6
4.3 消耗品一覧	7
5. 廃棄	7
6. 組立図・パーツリスト	8
7. 主要諸元	
7.1 仕様	10
7.2 外観寸法	10
8. 製品保証登録シート	11
9. 保証規定	12

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

梱包内容は下記のものが付属されています。
開梱後、ただちに輸送中の損傷が無いかおよび付属品の欠品が無いか確認してください。
また、締結部および配管接続部の緩みが無いか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。
なお、スタンド組立の上部（供給バルブ付近）には、輸送時の保護として保護材が取り付けられています。
製品使用时には不要ですので、取り外してください。

スタンド	ATC-99T :853744	1 式
	ATC-150T :853746	
エアーキャリー本体	ATC-99T :855178	1 式
	ATC-150T :855179	
取扱説明書（本書）		1 部

2. 使用前の準備

警告



- 本製品は測定機器です。損傷したままの使用や誤った使用、不適切な状態によって正確な空気圧で充填されず過充填となった場合、タイヤやタンクの破損に伴う重大事故の原因となります。以下のように正しく使用してください。

* リリーフ弁は安全のため絶対に設定を変えないでください。

工場出荷時は、リリーフ圧 950~1000kPa に設定されています。

* 供給エアはエアフィルターやドライヤを介した洗浄なエアを供給してください。

エアにゴミや水分が含まれている場合、製品の作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。

注意



- 直射日光が当たらない、水平な場所に設置してください。また、本製品は使用者の邪魔にならない場所に設置してください。



- 本製品は防雨仕様ではありません。雨水がかからない場所に設置してください。



- スタンドに供給するエアは、必ず 1000 kPa 未満のエアを使用してください。ご使用のコンプレッサーが 1000 kPa (1 MPa) 以上の圧力を発生する場合には、必ずエアレギュレーターで 1000 kPa 未満の圧力に減圧して使用してください。リリーフ弁が 950~1000 kPa にてリリーフするため、エアの消費に繋がるほか、リリーフする排気音が常時するため故障と間違えることがあります。

2.1 インフレーターガンの収納

- 1) エアーキャリー本体のフックに、インフレーターガンにあるリングを引っ掛け、インフレーターガンを収納してください。(Fig.1)



Fig. 1

2.2 エアーキャリーへのエア供給

- 1) 通常作業が邪魔にならず、雨水もかからない平坦な場所にスタンドを設置してください。
- 2) 1000 kPa 未満のエアをスタンド部のエア供給口に接続してください。(Fig.2)
※PS タイプのエアチャックを別途ご用意ください。



Fig. 2

- 3) スタンドにエアーキャリー本体をセットしてください。自動的にエアの供給が開始されます。(Fig.3)



Fig. 3

3. 使用方法

警告



- 本製品は測定機器です。損傷したままの使用や誤った使用、不適切な状態によって正確な空気圧で充填されず過充填となった場合、タイヤやタンクの破損に伴う重大事故の原因となります。以下のように正しく使用してください。

- * 本製品を乱暴に扱ったり、車両などにぶつけないでください。
衝撃により正しい空気圧の充填が行えなくなります。また、タンクが破損するとタンク内のエアの吹き出しや構成部品、その他飛散の可能性があります。
- * タイヤにエア充填する前に、必ずタイヤに劣化や損傷が無いことを確認してください。
- * タイヤにエア充填する前に、必ず車両に貼られている車両指定空気圧（タイヤの空気圧）ラベルの値を確認し、正しい空気圧を充填してください。
- * タイヤにエア充填する際は、エア漏れが無いようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへ正しく押し当ててください。また、タイヤ圧が正しく測定できていることを確認してください。
- * インフレーターガンを落としたり乱暴に取り扱わないでください。
- * インフレーターガンのレバーを強く握った際に異常な漏れが見られる場合には使用しないでください。劣化の恐れがありますので、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ点検またはインフレーターガンの交換を依頼してください。
- * インフレーターガンの操作時、小刻みにタイヤの圧力を確認しながら行ってください。
- * インフレーターガンに亀裂・破損が無いことを使用ごとに点検してください。
- * 子供に使用させないでください。



- 人に向けてエアを放出しないでください。

注意



- 本製品は、普通自動車および軽自動車用であるため、大型車や車両以外の用途で使用しないでください。早期故障の原因になります。



- スタンドにエアーキャリア本体を過度に押し付けしないでください。バルブ部にあるパッキンの損傷によりエア漏れやタンク内へのエア供給不可などの恐れがあります。



- タイヤバルブへの接続中にホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。タイヤチャックなどの破損の原因となります。



- コイルチューブは無理に曲げないでください。潰れまたは折れの原因となります。



- 真夏の暑い条件下では、金属部品が高温となっている場合があります。取り扱い時に注意してください。



- フックからインフレーターガンを取り出すまたは収納する場合には、フックと接触してケガをしないよう注意してください。



- エアーキャリア本体を持ち運ぶ際には、インフレーターガンがフックから外れないように注意してください。

⚠ 注意



- インフレーターガンの圧力計の目盛盤用アクリルカバーが破損した場合、使用をただちにやめ、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ交換を依頼してください。



- インフレーターガンの操作時、ガン本体とレバーとの間に手や指を挟まないよう注意してください。

- 1) 車輻に貼られている車両指定空気圧（タイヤの空気圧）ラベルの値を確認してください。
- 2) エアーキャリー本体の取っ手部を持ち、作業する車両のタイヤの近くまで持ち運んでください。
- 3) エアーキャリー本体のフックに引っ掛けられているインフレーターガンを取り外してください。
- 4) タイヤチャックをタイヤバルブに対して真っ直ぐ確実に押し当ててください。このとき、圧力計の数値はこの時点でのタイヤの空気圧を指示しています。（Fig.4）
- 5) 圧力計の数値が適正のタイヤ圧ではない場合、次の要領にてタイヤの空気圧を調整してください。（Fig.5）



Fig. 4

空気圧が不足の場合：レバーを強く握り（レバー位置③）、充填してください。（Fig.5）

空気圧が過剰な場合：レバーを弱く握り（レバー位置②）、減圧してください。（Fig.5）

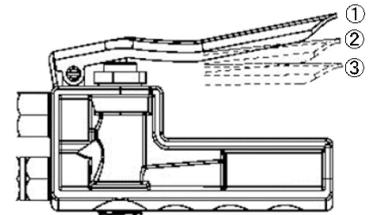


Fig. 5

タイヤの空気圧確認：レバーの握りを離してください。（レバー位置①）（Fig.5）

※タイヤの空気圧は充填中や減圧中には表示されず、レバーを離した時点で表示されます。
従って、レバー操作は小刻みに行い、圧力を確認しながら行ってください。

- 6) タイヤへの充填中に充填速度が遅くなった場合にはエアーキャリー本体上部の「エア圧力計」を確認し、タンク内のエア圧が不足しているときは、スタンドにエアーキャリー本体をセットし、エアを供給してください。
- 7) 使用後は、インフレーターガンをエアーキャリー本体のフックに引っ掛けて収納し、エアーキャリー本体をスタンドにセットしてください。（常にエア供給の状態にしておいてください。）

4. 保守・点検

警告



- 本製品は測定機器です。損傷したままの使用や誤った使用、不適切な状態によって正確な空気圧で充填されず過充填となった場合、タイヤのタンクの破損に伴う重大事故の原因となります。以下のように正しく使用してください。
 - * 本製品を分解・改造しないでください。
 - * リリーフ弁は安全のため絶対に設定を変えないでください。
工場出荷時は、リリーフ圧 950~1000kPa に設定されています。
 - * インフレーターガンのレバーを強く握った際に異常な漏れが見られる場合には使用しないでください。劣化の恐れがありますので、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ点検またはインフレーターガンの交換を依頼してください。
 - * インフレーターガンの圧力計の調整ネジは絶対に回さないでください。
 - * インフレーターガンに亀裂・破損が無いことを使用ごとに点検してください。

注意



- エアーキャリー本体に貼り付けている取扱表示ラベル（791654）に汚れや破損が見られた場合、交換してください。



- ドレンバルブを緩める際には、よく注意しながらゆっくりと緩めてください。必要以上に緩めてしまった場合、ドレンやエアが一気に噴き出したりドレンバルブが内圧で飛んだりすると、ケガをする恐れがあります。



- インフレーターガンの交換時はドレンバルブの操作によりタンクの内圧を除去した後、作業してください。



- 長時間使用しない場合は、エアの供給を止めておいてください。またタンクのドレンバルブを開いてタンク内エアも解放してください。



- インフレーターガンの圧力計の目盛盤用アクリルカバーが破損した場合、使用をただちにやめ、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ交換を依頼してください。



- 圧力計の清掃に溶剤は使用しないでください。

4.1 保守

<日常点検>

- ・ 各部に亀裂・破損が見られないか
- ・ インフレーターガンの指針において、ゼロ点にズレが見られないか
- ・ インフレーターガンの指針において、充填・排気時の動作で異常な動作は見られないか
- ・ インフレーターガンのレバーを強く握った際、タイヤチャック部から充填動作以外にレバー付近から異常な漏れが見られないか

<定期点検：月一回程度を目安>

- ・ ドレンバルブをゆっくり緩め、タンク内に溜まったドレンを抜いてください。終了後は、必ず確実に締めておいてください。(Fig.6)



Fig. 6

4.2 トラブルシューティング

状況	点検項目	対策
タイヤチャックをタイヤバルブにセットしてもインフレーターガンの圧力計の指針が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しくセットされているか ・ ホースや接続部に漏れは無い ・ ホース・タイヤチャックの不良 ・ 圧力計が故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 正しく接続する ▶ 漏れ・緩みを点検して増し締め ▶ ホース・タイヤチャックの交換 ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼
インフレーターガンの圧力計において、指針の動きが普段と異なる(異常)	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフレーターガンのレバーを強く握った際、レバー付近から異常な漏れも見られるか ・ 圧力計が故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガンの故障・寿命であるため、インフレーターガンごと交換を依頼 ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼
インフレーターガンの圧力計の指示値が明らかに異常である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力計が故障していないか 	▶ 点検または校正を依頼
タイヤチャックをセットし、インフレーターガンのレバーを強く握ってもタイヤの空気圧が増加しない(圧力計の指針が上がらない)	<ul style="list-style-type: none"> ・ タンク内のエア不足 ・ 圧力計が故障していないか ・ フィルターに詰まりはないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スタンドにセットし、エアを供給 ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼 ▶ フィルターの清掃または交換を依頼
タイヤチャックをセットし、インフレーターガンのレバーを軽く握ってもタイヤの空気圧が減少しない(圧力計の指針が下がらない)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力計が故障していないか 	▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼
タンク内にエアが溜まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ タンクのドレンバルブに緩みが無い ・ スタンドのバルブが故障していない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 点検 ▶ 修理を依頼
スタンドと本体の接続部からエアが漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ バルブ内部部品が摩耗していない ・ スタンドが著しく傾いていない 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修理を依頼 ▶ 平らに調整

4.3 消耗品一覧

推奨交換時期は目安です。保証する期間ではありません。

使用環境や使用条件、使用頻度により交換時期が早まる場合があります。特に直射日光の下では紫外線などによる影響で樹脂部品の早期劣化が想定されますので、点検時にご確認ください。

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期	備考
ATC-99T (855178) / ATC-150T (855179) 本体組立内				
708615	スプリング ※	1/台	約 10 年	リリースバルブ用
770941	バルブ ※	1/台	約 5 年	エアーキャリー本体へのエア供給用
770942	パッキン ※	1/台	約 5 年	エアーキャリー本体へのエア供給用
770946	パッキン	1/台	約 5 年	ドレンプラグ用
795057	バルブ ※	1/台	約 5 年	リリースバルブ用
772633	ガード	1/台	約 2 年	ATC-99T 用
772649	ガード	1/台	約 2 年	ATC-150T 用
772212	ウケザ	1/台	約 5 年	
695397	コイルチューブ	1/台	約 1 年	
684031	アツリヨクケイ	1/台	約 3 年	タンク内空気圧用 (タンク上部)
687023	インフレーターガン	1/台	約 2 年	
687023 インフレーターガン内				
687024	エアホース	1/台	約 1 年	ホース・Oリング・タイヤチャック付き
687025	タイヤチャック	1/台	約 1 年	
687236	バルブクミタテ	1/台	約 2 年	
687102	フィルター	1/台	約 0.5 年	圧力計用 (交換時期は使用環境により異なる)

※の部品は製品内部にある消耗品です。組立後にリリース圧の調整が必要なため、交換作業はお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご依頼ください。

5. 廃棄

本製品またはその部品を廃棄するときは、廃棄する地域の最新の法律・条令に従ってください。

警告



- 本製品の廃棄時、タンク内のエアが入ったまま廃棄しないでください。

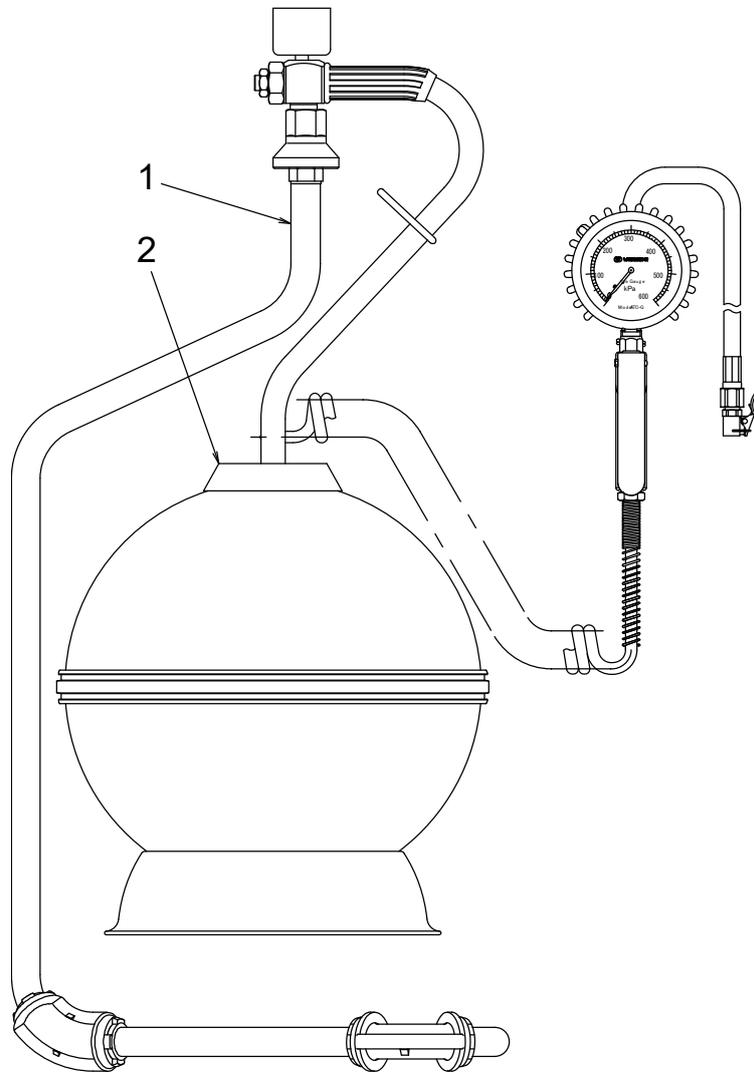
注意



- ドレンバルブを緩める際には、よく注意しながらゆっくりと緩めてください。必要以上に緩めてしまった場合、ドレンやエアが一気に噴き出したりドレンバルブが内圧で飛んだりすると、ケガをする恐れがあります。

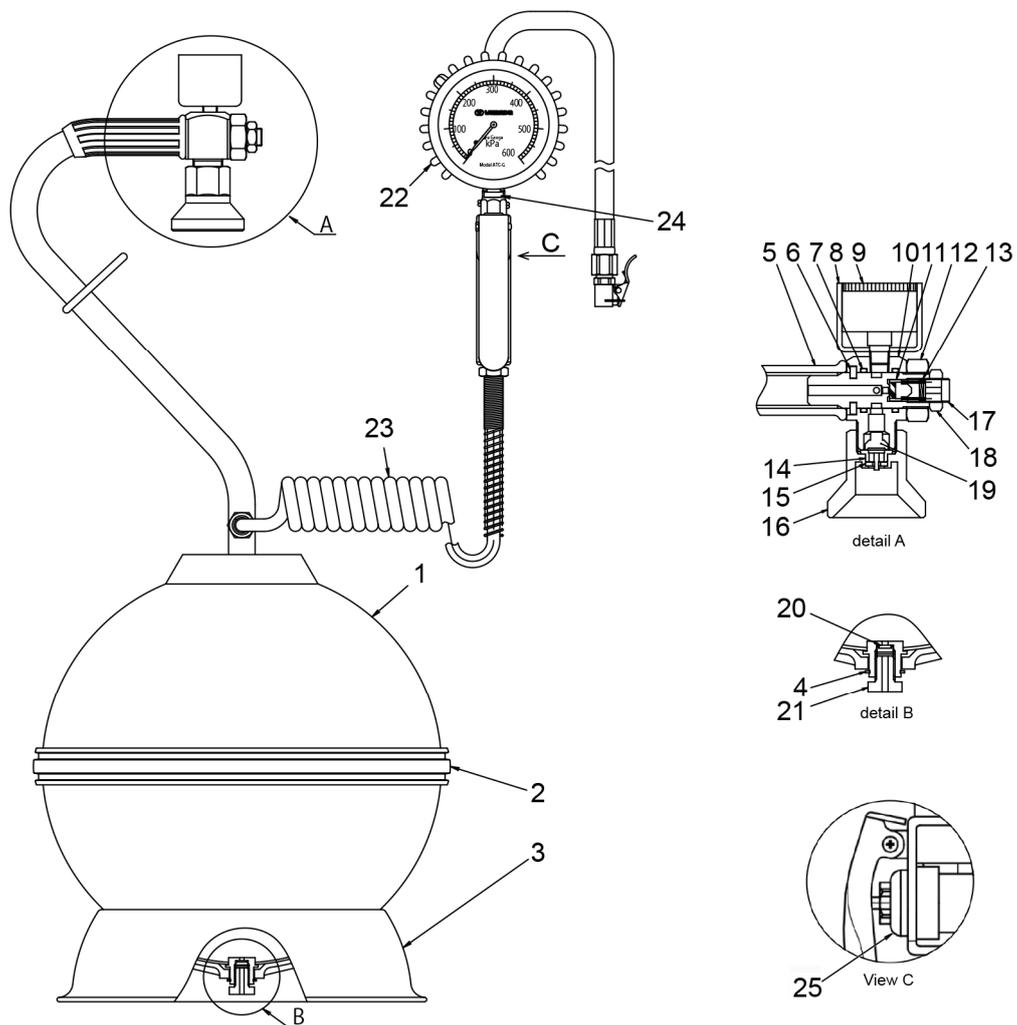
6. 組立図・パーツリスト

■881211(ATC-99T)、881212(ATC-150T) エアーキャリー組立



No.	部品番号		部品名称	員数
	ATC-99T	ATC-150T		
1	853744	853746	スタンド組立	1
2	855178	855179	本体組立	1

■855178(ATC-99T)、855179(ATC-150T) 本体組立



No.	部品番号		部品名称	員数	No.	部品番号		部品名称	員数
	ATC-99T	ATC-150T				ATC-99T	ATC-150T		
1	833215	833216	タンク組立	1	14	708616	←	バルブシート	1
2	772633	772649	ガード	1	15	770942	←	パッキン	1
3	772212	←	受け座	1	16	708617	←	ガイド	1
4	630691	←	C型止め輪	1	17	708586	←	調整ボルト	1
5	771278	←	ニギリ	1	18	627327	←	ナット	1
6	710060	←	スペーサー	2	19	770941	←	バルブ	1
7	640016	←	Oリング	2	20	770946	←	パッキン	1
8	771948	←	ガード	1	21	708592	←	ドレンバルブ	1
9	684031	←	圧力計	1	22	687023	←	インフレーターガン	1
10	712849	←	ジョイント	1	23	695397	←	コイルチューブ	1
11	795057	←	バルブ	1	24	687102	←	フィルター	1
12	627334	←	ナット	1	25	687236	←	バルブクミタテ	1
13	708615	←	スプリング	1					

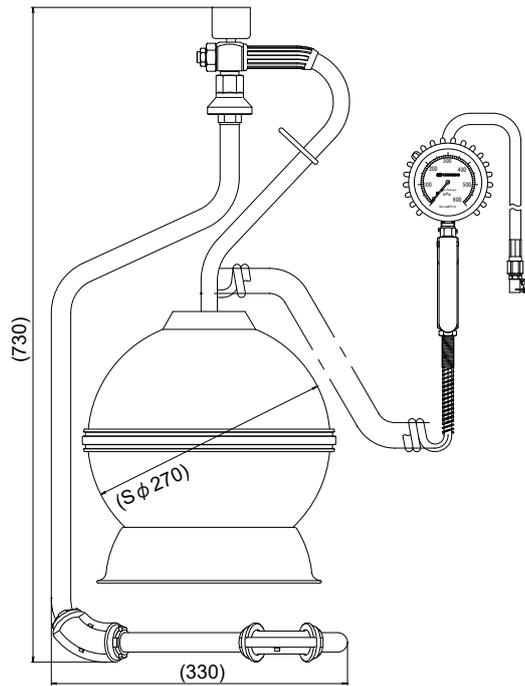
7. 主要諸元

7.1 仕様

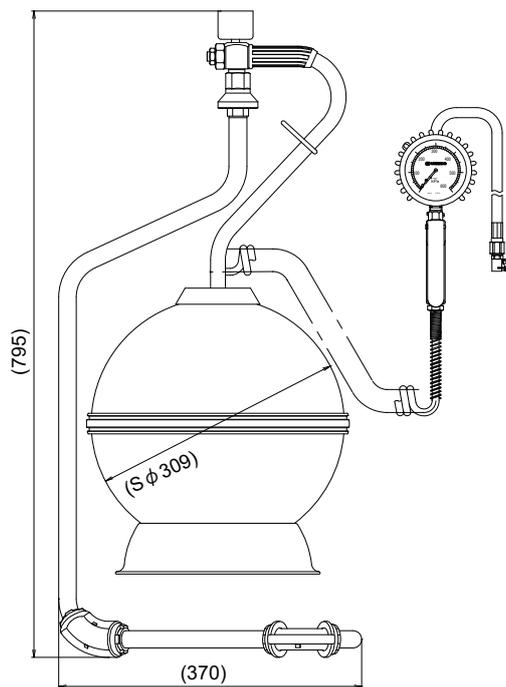
製品番号	型式	外観寸法	ゲージ目盛	タンク容量	質量
881211	ATC-99T	全高：730 mm 全幅：330 mm	0~600 kPa 最小 10 kPa	9.9 L (ステンレス仕様)	本体：4.4 kg スタンド：2.3 kg
881212	ATC-150T	全高：795 mm 全幅：370 mm		15.0 L (ステンレス仕様)	本体：5.0 kg スタンド：2.5 kg

7.2 外観寸法

7.2.1 ATC-99T



7.2.2 ATC-150T



8. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の 個人情報 方針 に 基づき 適切な 安全 対策 の もと 管理 し、お 客様 の 同意 なく 第三者 へ 開示、提供 いたし ませ ン。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものににつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202306.2713 AUT107U